

# 委員会活動計画書

委員長名 岸恵美子

<b>【委員会名】</b> 保健師基礎教育検討委員会（特別プロジェクト）	
<b>【メンバー】</b> ◎岸恵美子（東邦大学）、五十嵐千代（東京工科大学）、和泉京子（武庫川女子大学大学院）、大木幸子（杏林大学）、大森純子（東北大学）、斉藤恵美子（首都大学東京）、*佐伯和子（前北海道大学大学院）、¥鈴木良美（東京医科大学）、中板育美（武蔵野大学）、野村美千江（愛媛県立医療技術大学）、鳩野洋子（九州大学）、 ◎委員長、*会員校以外の委員、¥会計担当、（ ）所属名、50音順	
<b>【活動方針】</b> 質の高い保健師育成のために、保健師基礎教育における教育内容・方法や教育体制のあるべき姿を検討し提案する、	
<b>平成 30 年度</b>	
<b>達成目標</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・卒業時の到達度、教育内容・方法、教育体制の現状を分析し、保健師基礎教育の課題、教育内容・方法の見直しの方向性を検討する。</li><li>・将来を担う保健師に求められる能力および強化が必要な能力を明らかにし、現在の保健師基礎教育で不足している教育内容・方法を抽出する。</li><li>・保健師基礎教育に今後必要な教育内容・方法を検討する。</li></ul>
<b>活動計画</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 将来を担う保健師に求められる能力と今後必要な教育内容・方法を検討する。<ol style="list-style-type: none"><li>1) 保健師に求められる能力、特に強化すべき能力を明らかにする。 保健師基礎教育調査結果、公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム、各委員会の成果報告書等を参考に、将来を担う保健師に必要な能力、今後強化すべき能力を明らかにする。</li><li>2) 保健師基礎教育における、教育内容の見直しの必要性、方向性を検討する。</li><li>3) 保健師に必要な教育内容・方法を検討する。 保健師基礎教育に必要な単位数、講義内容・方法、演習内容・方法、実習内容・方法を検討する。</li></ol></li><li>2. 1. で検討した内容を、看護基礎教育検討委員会および保健師ワーキングでの検討の根拠となるよう情報提供し、保健師基礎教育の質向上に活かす。</li><li>3. 委員会の開催<ul style="list-style-type: none"><li>・看護基礎教育検討会および保健師ワーキングの開催時期を視野に入れ適宜会議を開催し、保健師基礎教育について検討を行う。必要に応じ、保健師ワーキングメンバーおよび関連団体に助言者として会議に参加してもらう。</li></ul></li></ol>